

塩竈アフタースクール事業

— 放課後の子どもの居場所づくりを支援 —

放課後に子どもにとって魅力的な事業を提供し、次世代を担う子どもの育成を図ることを目的に『塩竈アフタースクール事業』を進めています。

子どもたちが放課後などに、笑顔になれる居場所・‘ほっと’できる居場所づくりを支援し、地域の方が優しく見守り、そして地域の方々も元気になれるまちづくりを目指しています。

わくわく遊び隊

わくわく遊び隊は、小学生が授業終了後に学校の校庭などで、運動要素を取り入れたレクリエーション活動や地域文化の体験型学習活動を行い、子どもたちが安心して楽しめる居場所をつくります。

「子どもたちの体力・運動能力を向上させたい！」との思いから、塩竈市スポーツ推進委員、塩釜市体育協会、塩竈フットボールクラブの方々が指導者として、平成28年度に玉川小学校で開始されました。

平成28年度

玉川小学校の1年生から3年生の希望者を対象に、週1回程度、年間24回開催しました。運動の基礎になる「投げる」「走る」「跳ぶ」を軸にさまざまな運動を行い、ドッジボール・鬼ごっこ・サッカーが人気でした。



「いろいろなスポーツや遊びを、楽しみながら教えてもらえるのでよかったです。」「家にいるとゲームばかりしているので、体を使った遊びをしてもらえることがうれしかった。」



保護者の感想

平成29年度

小学校ごとに、PTAの方々を中心に運営委員会をつくり、学校ごとの特徴も加えながら、開催していくことを目指しています。

6月には月見ヶ丘小学校で、10月には杉の入小学校と第三小学校で開始しました。第一小学校と第二小学校でも、開始に向けて準備を進めています。

見学できますので、地域の皆さんで子どもたちが活躍する姿を見守りましょう。



☎ 生涯学習課学習支援係 ☎ 362-2556

Shiogama

こども ‘ほっと’ スペースづくり支援プログラム

地域の方々などにより子どもたちが放課後、休日、長期休業中に‘ほっと’できる居場所をつくるプログラムです。‘ほっと’スペースづくりを支援するために、助成金による支援と講演会、勉強会などを開催します。

子どもの居場所づくりに関心をお持ちの方は、気軽にご参加ください。

プログラム1 こども‘ほっと’スペースづくり助成金

ほっとスペースづくりを行っていただく団体などに助成金による支援と、支援研修などを通して活動をサポートします。

助成金額(1団体あたり)

25万円(1~2件程度)、15万円(3~5件程度)

[予算]平成29年度100万円、平成30年度300万円

対象活動

○平日の放課後や夜間の子どもの居場所

[例] 子ども・地域食堂など

○学習支援など

[例] 各種教科の学習支援、英会話教室、料理教室など

○多様な学びを通じた多世代間の交流を図る事業

[例] 伝承遊び、囲碁、将棋、まちあるき、体験事業など

プログラム2

こども‘ほっと’スペースづくり講演会

講演テーマ こどもたちにとって放課後の居場所があることの大切さ~私がこども食堂を立ち上げた理由~

講師 栗林知絵子さん

(NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク理事長)

とき 11月3日(金・祝) 13:30~16:30

ところ ふれあいエスパ塩竈 学習室1(東玉川町)



プログラム3 こども‘ほっと’スペースづくり勉強会

子どもの居場所づくりに関心がある方を対象に勉強会を行います。全6回シリーズで、子ども向けプログラムの作り方、安全管理などを予定しています。

☎ 子育て支援課家庭支援係 ☎ 353-7797